

柏南ロータリークラブ 会報

2025-2026 片岡達生年度

Rotary



よいことのために
手を取り合おう



第46代会長 片岡 達生
幹事 井畑 和士 齊藤 洋子

第2017回 2025年7月22日（火）

会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日は、はぐくみの杜かしわ 施設長の内村浩二郎さまをゲストにお迎えしています。現場経験に基づくお話から、奉仕のあり方を考える機会になればと思います。



さて先日、11Gの会長・幹事会で、柏RCや柏中央RCでは会員同士を「フェロー」と呼び合っているという話題がありました。私も以前からこの呼び方を耳にし、温かくてロータリーらしいと感じていました。

“フェロー”は「仲間」や「同志」を意味し、対等な関係を大切にするロータリーの精神に合致します。片岡年度のテーマである「ロータリーらしさ」や「仲良しクラブ」にも通じると思い、柏南でも取り入れていきたいと考えています。まずは私自身が実践していきます。

また、はぐくみの杜の前施設長・榎本さまから、「子どもの自立に大切なのはスタッフとの絆をつくる時間。そのために、ボランティアの方には裏方の仕事お願いしている」と伺い、強く共感しました。奉仕活動も「主役は現場、私たちは脇役」という視点が大切だと感じました。

8月5日の納涼例会では、はぐくみの杜の子どもたちも多数参加予定です。齊藤亮弥フェローら実行委員が工夫を凝らして準備を進めています。柏南らしい“おもてなし”的な納涼を成功させるために、皆さまのご協力、そして2万円以上の協賛金のご支援もよろしくお願ひいたします。

例会ハイライト



ソングリーダー：齊藤洋子幹事
2回目の指揮、慣れてきました！



片岡会長の点鐘も！

お食事・ニコニコ



ワンコインニコニコ 3,694円
累計 8,935円

卓話 内村 浩二郎様



はぐくみの杜かしわ 施設長 内村浩二郎 様

— 傷ついた子どもたちに「家庭のぬくもり」を —

7月22日の例会では、生活クラブ風の村 はぐくみの杜かしわ の施設長・内村浩二郎氏をお迎えし、児童養護施設の現状と支援のあり方についてお話を伺いました。

内村氏は長年「児童自立支援施設」で、非行や不登校などの課題をもつ子どもたちと向き合ってこられました。そうした“手ごわい子どもたち”との日々を経て、この4月から児童養護施設の新たな現場へ。児童養護施設とは、虐待や家庭の事情で家に戻れない子どもたちが暮らす“もうひとつの家”です。多くの子どもは18歳、時に20歳までをここで過ごし、親に代わって大人たちが日々の生活を支えています。

はぐくみの杜かしわは柏市酒井根にある定員30名の施設で、現在28名が入所。20代を中心とした若いスタッフが多く、温かいごはんやお風呂のある「当たり前の家庭」を大切にしながら運営しています。スタッフ自らが手づくりの食事を用意し、子どもたちに安心と家庭的なぬくもりを届けているそうです。

卓話では、子どもたちとスタッフの普段の様子を映した動画も紹介されました。笑顔で遊び、歌い、楽器を奏でる姿——音楽を通じて心を通わせる場面が印象的でした。施設では、音楽を大切にし、リズムや歌が子どもと大人の距離を近づける大切な手段になっているといいます。

内村氏は「スタッフが子どもと一緒に思いっきり遊ぶこと」を大切にしていると語りました。支援する・されるという関係ではなく、同じ時間を笑って過ごす仲間として絆を育む。その積み重ねが、傷ついた子どもたちの心を癒やし、自信や安心につながっていくのだといいます。

日々の暮らしのものを通じて、人を信じる力を取り戻していく——その姿勢に、会員一同、深い感銘を受けました。

例会出席報告

浅野 繁	荒木知太朗	井畠和士	岡田尚子	尾嶋聰	片岡達生
勝部一成	倉持誠	黒滝義之	小高 潔	小林義和	小林 亘
齊藤誠	齊藤洋子	齊藤亮弥	櫻井好美	新保貴	關口和行
高橋薰	竹村隆一郎	友野俊政	妻島不三二	中澤裕隆	猫田岳治
服部秀雄	森秀樹	森江義成	吉川未満		
出席者	マークアップ	欠席者	出席免除者		
例会日	会員数	出席数	出席率に用いる数	出席率	
7月22日	28名	13名	3名	54.2%	

例会欠席の場合は前週の金曜日までに欠専用ラインアカウントへ連絡をお願致します。

幹事報告

●7月ローテリーレート／145円

今後の予定

7月29日(火) ガバナー補佐訪問 クラブ協議会

8月 5日(火) 納涼例会 点鐘 午後6時00分

8月12日(火) 夏季休会

8月19日(火) 通常例会・クラブ協議会・理事会
卓話 和島直樹様

8月26日(火) ガバナー公式訪問